

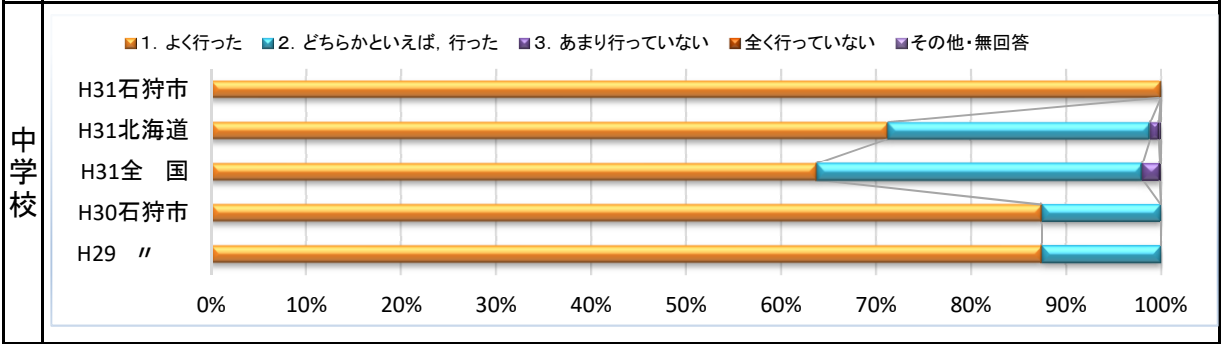
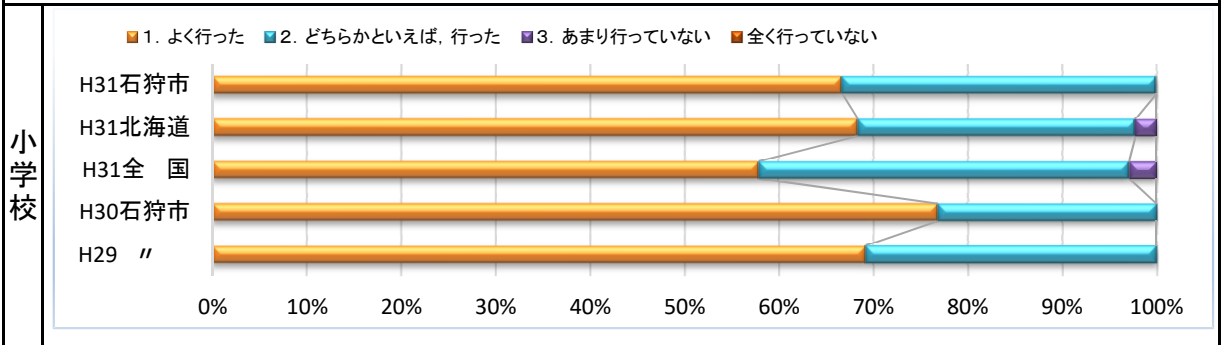
平成31（令和元）年度 学習状況調査 [学校質問紙] より

I 規範意識・自己有用感

学習規律は小学校、中学校ともに定着

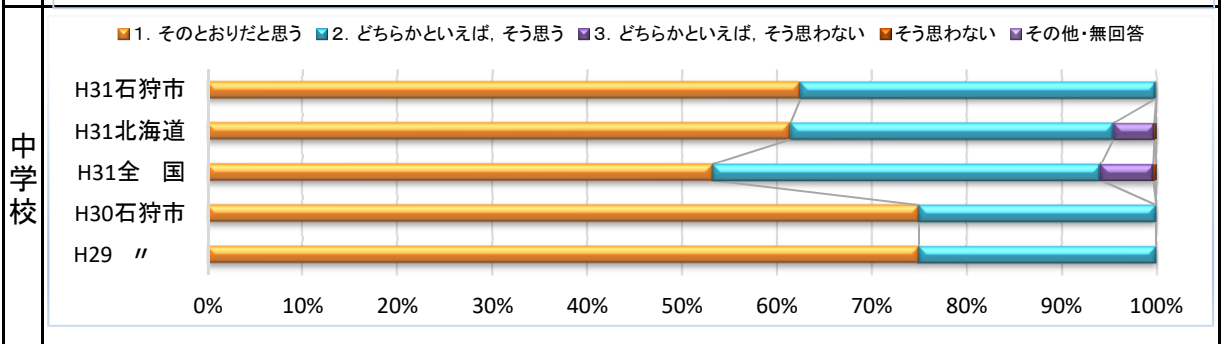
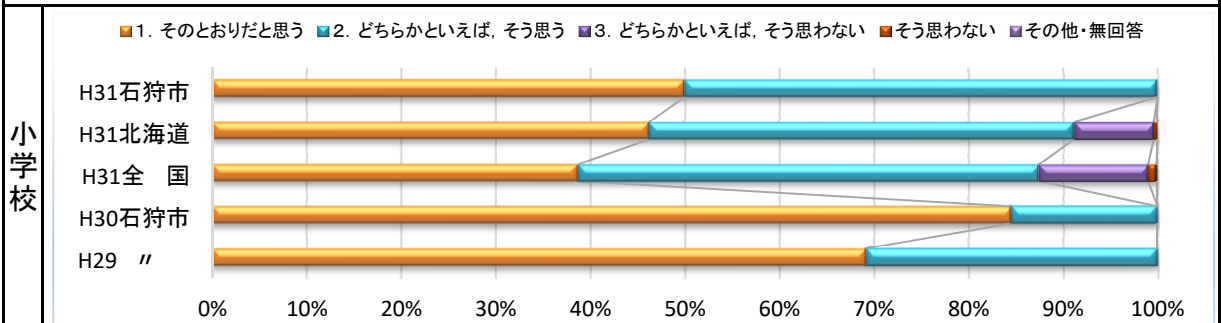
・「学習規律の維持を徹底してよく行った」の割合は、小学校で66.7%(全国比+8.9ポイント, 全道比-1.6ポイント)で、中学校では、100%(全国比+36.2ポイント, 全道比+28.6ポイント)でした。

1. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか



・「私語がなく落ち着いている」割合は、小学校で50.0%(全国比+11.2ポイント, 全道比+3.8ポイント)で、中学校では62.5%(全国比+9.3ポイント, 全道比+1.0ポイント)でした。

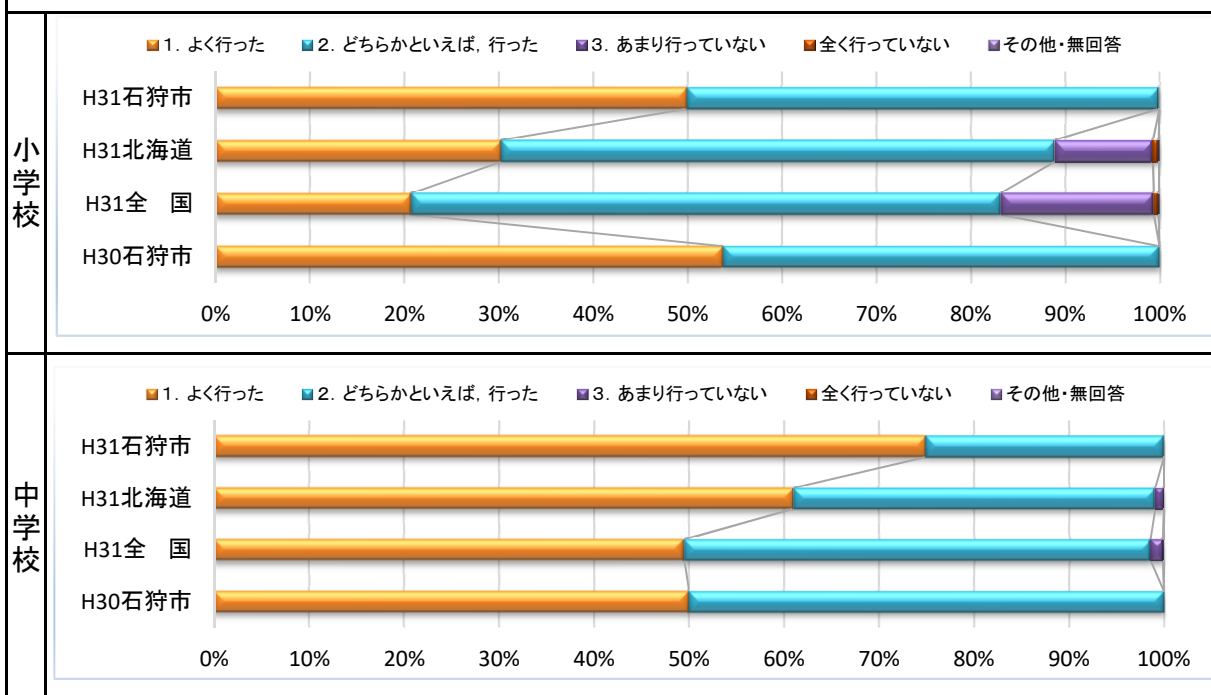
2. 調査対象学年の児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



自己有用感を育てる教育は今後も継続した取組が必要

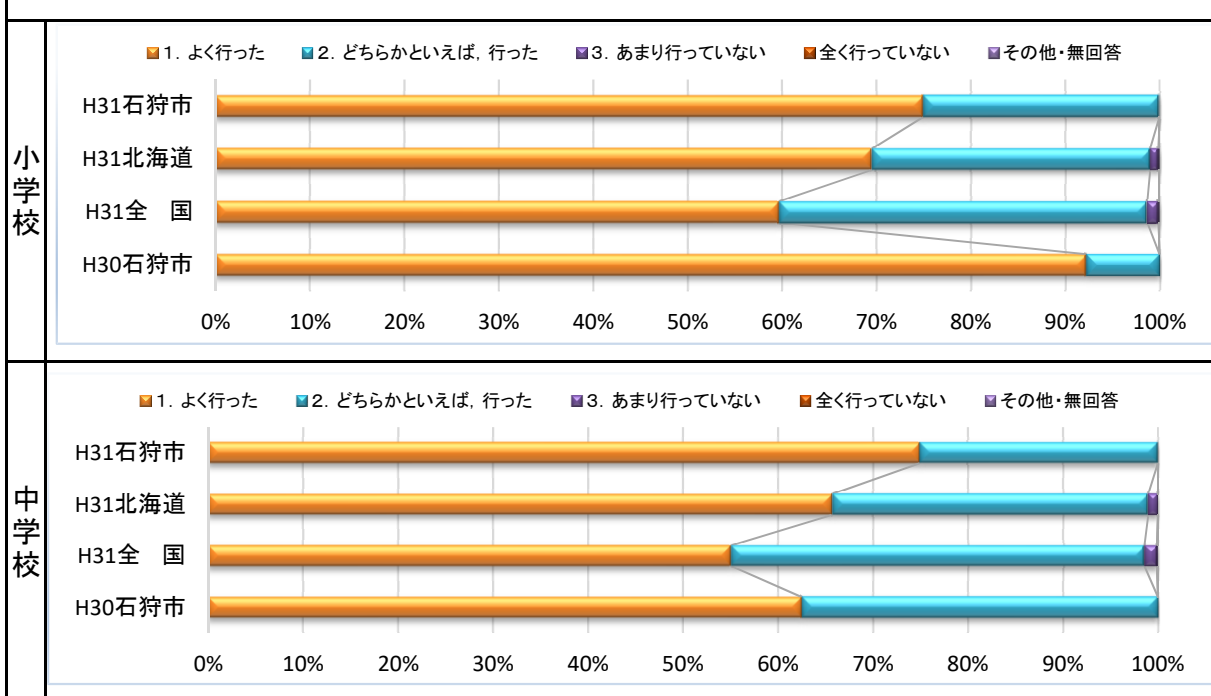
・「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行っている」割合は、小学校で50.0%(全国比+29.2ポイント、全道比+19.7ポイント)で、中学校では75.0%(全国比+25.5ポイント、全道比+13.9ポイント)でした。

3. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



・「一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組」の割合は、小学校で75.0%(全国比+15.2ポイント、全道比+5.4ポイント)で、中学校では75.0%(全国比+19.9ポイント、全道比+9.2ポイント)でした。

4. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか

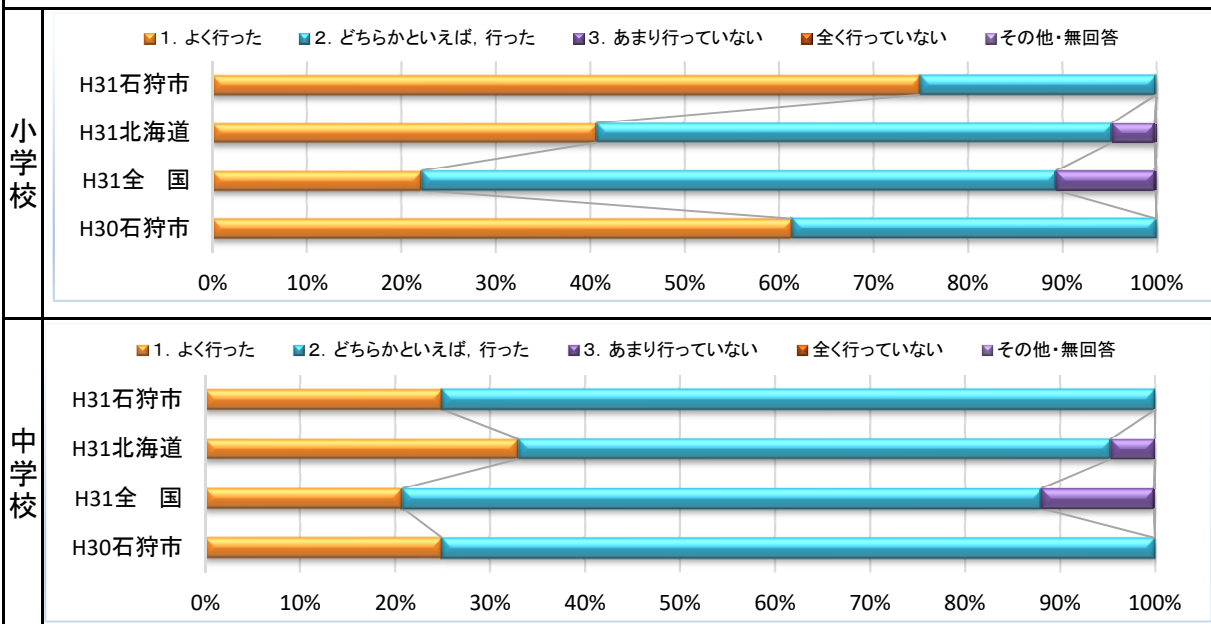


II 学習指導・授業改善の取組

学習指導，授業方法の工夫・改善は継続した取組が肝要

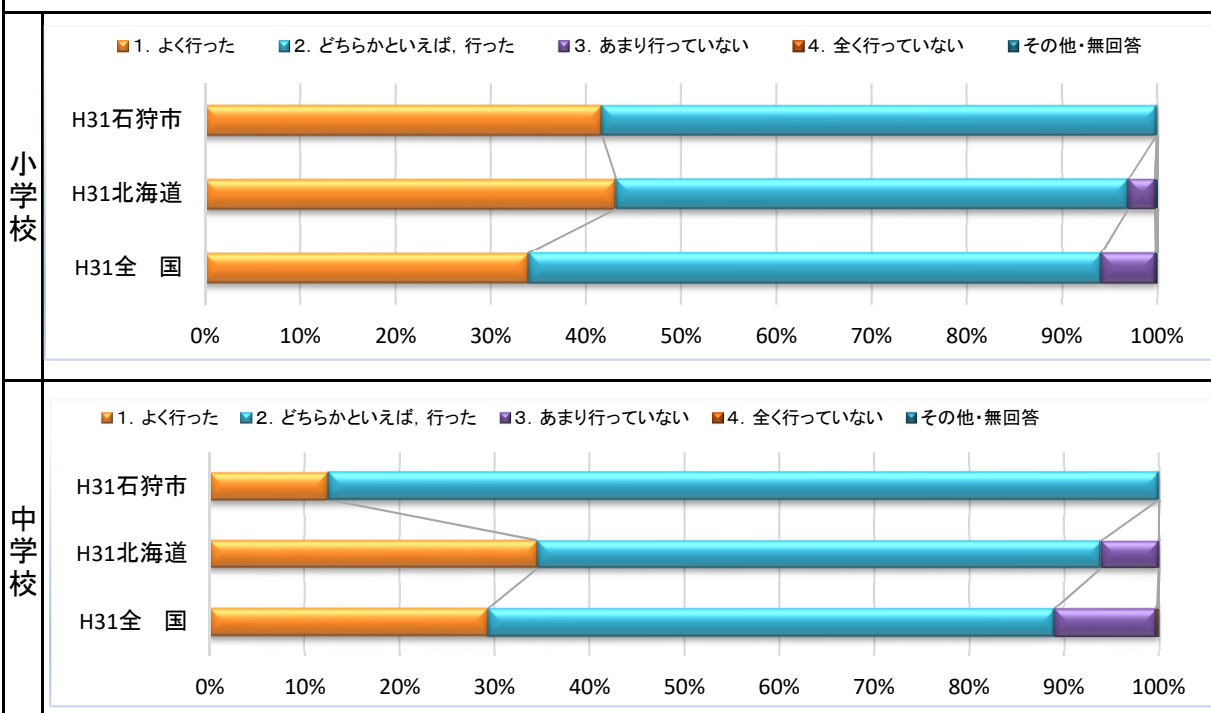
・「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」割合は，小学校で75.0%(全国比+52.8ポイント，全道比+34.2ポイント)で，中学校では25.0%(全国比+4.2ポイント，全道比-8.0ポイント)でした。

5. 調査対象学年の児童・生徒に対して，前年度までに，習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか



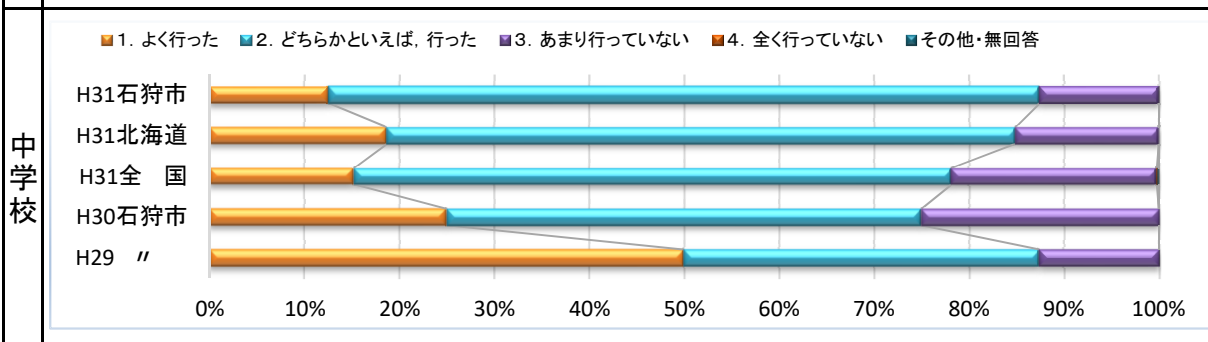
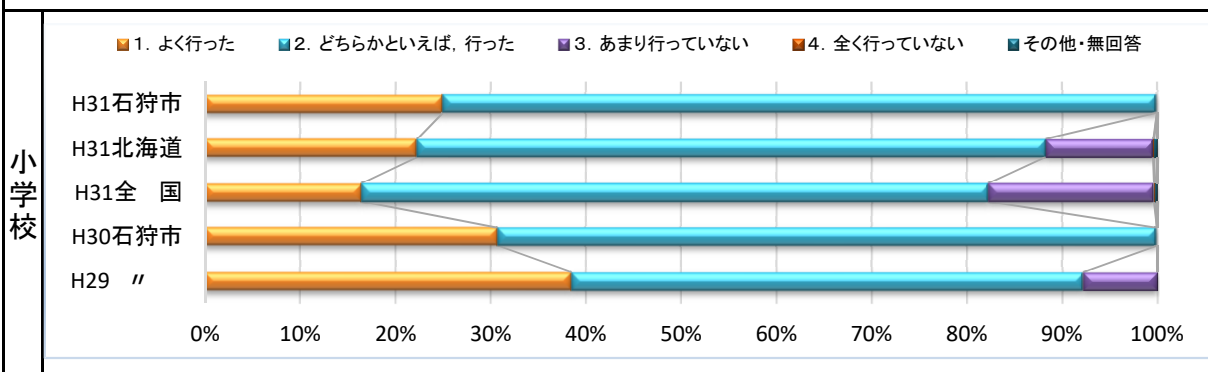
・「国語の指導として，前年度までに，目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った」割合は，小学校で47.1%(全国比+7.7ポイント，全道比-1.5ポイント)で，中学校では12.5%(全国比-16.8ポイント，全道比-22.1ポイント)でした。

6. 調査対象学年の児童に対する国語の指導として，前年度までに，目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか



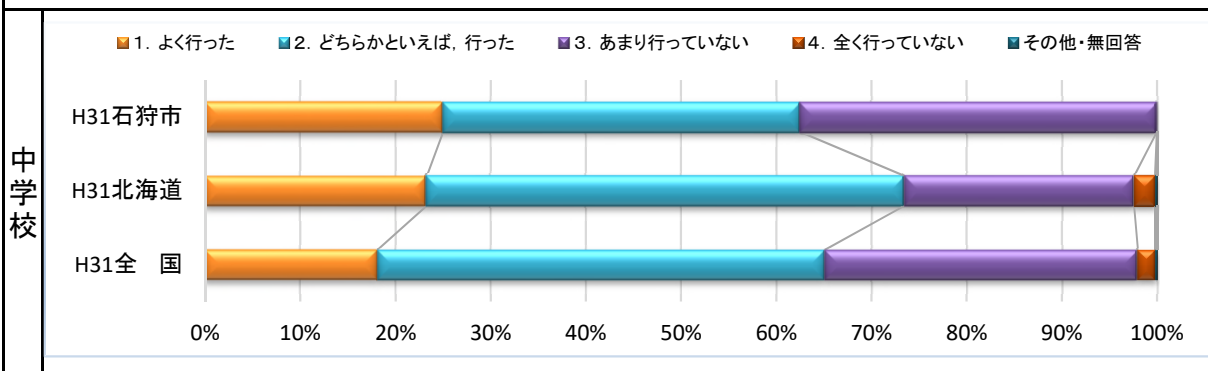
・「算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った」割合は、小学校で25.0%(全国比+8.5ポイント、全道比+2.7ポイント)で、中学校では12.5%(全国比-2.7ポイント、全道比-6.2ポイント)でした。

7. 調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



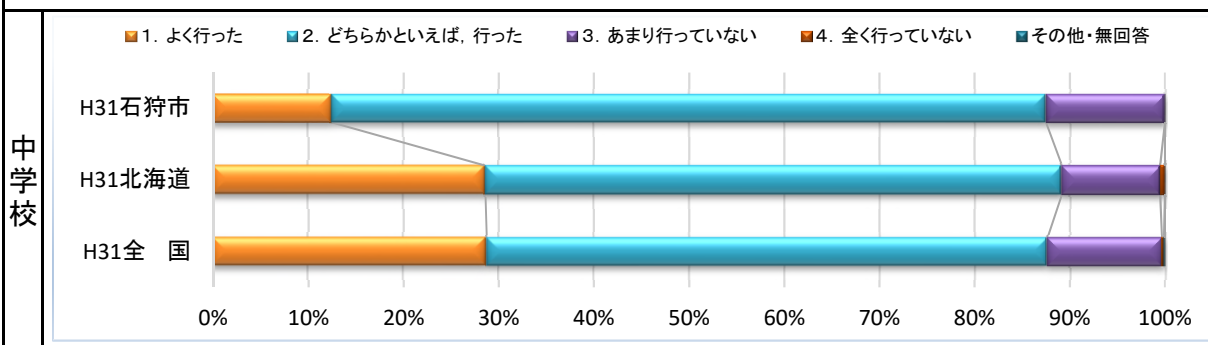
・「英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動をよく行った」割合は、25.0%(全国比+6.9ポイント、全道比+1.7ポイント)でした。

8. 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか



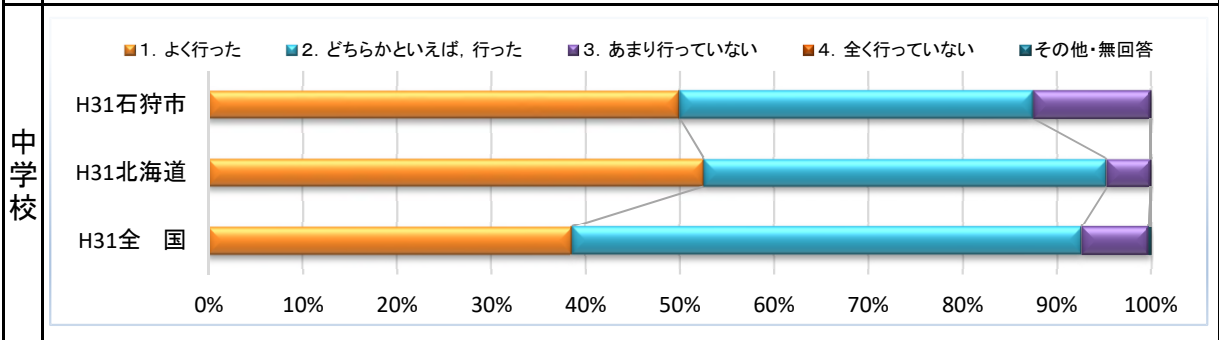
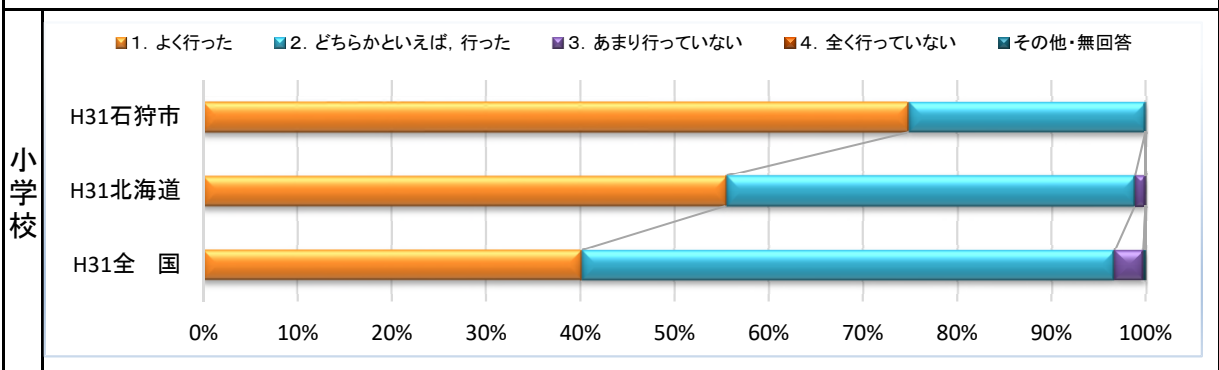
・「調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動をよく行った」割合は、12.5%(全国比-16.2ポイント、全道比-16.1ポイント)でした。

9. 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行いましたか



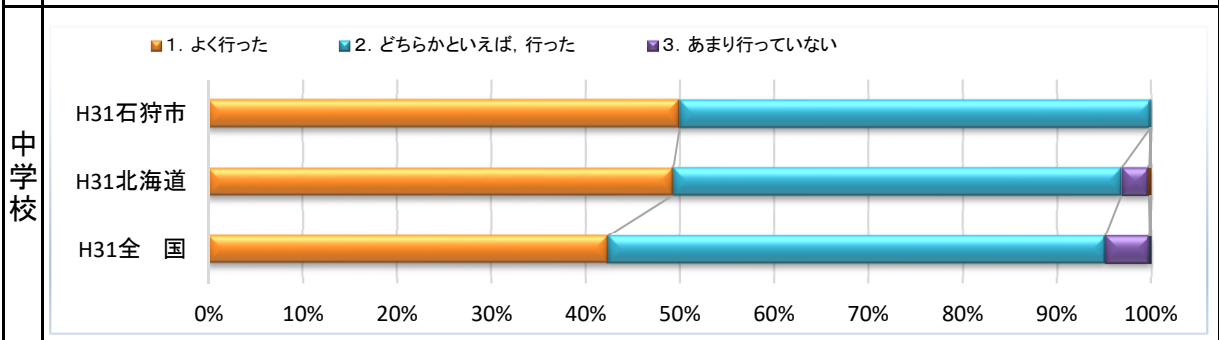
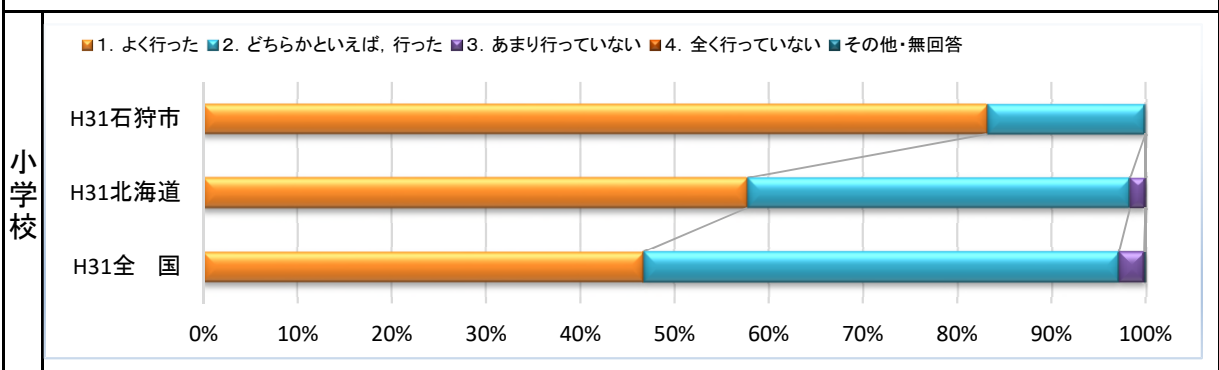
・「特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫を指導をよく行った」割合は、小学校で75.0%(全国比+34.8ポイント、全道比+19.4ポイント)で、中学校では50.0%(全国比+11.4ポイント、全道比-2.6ポイント)でした。

10. 特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



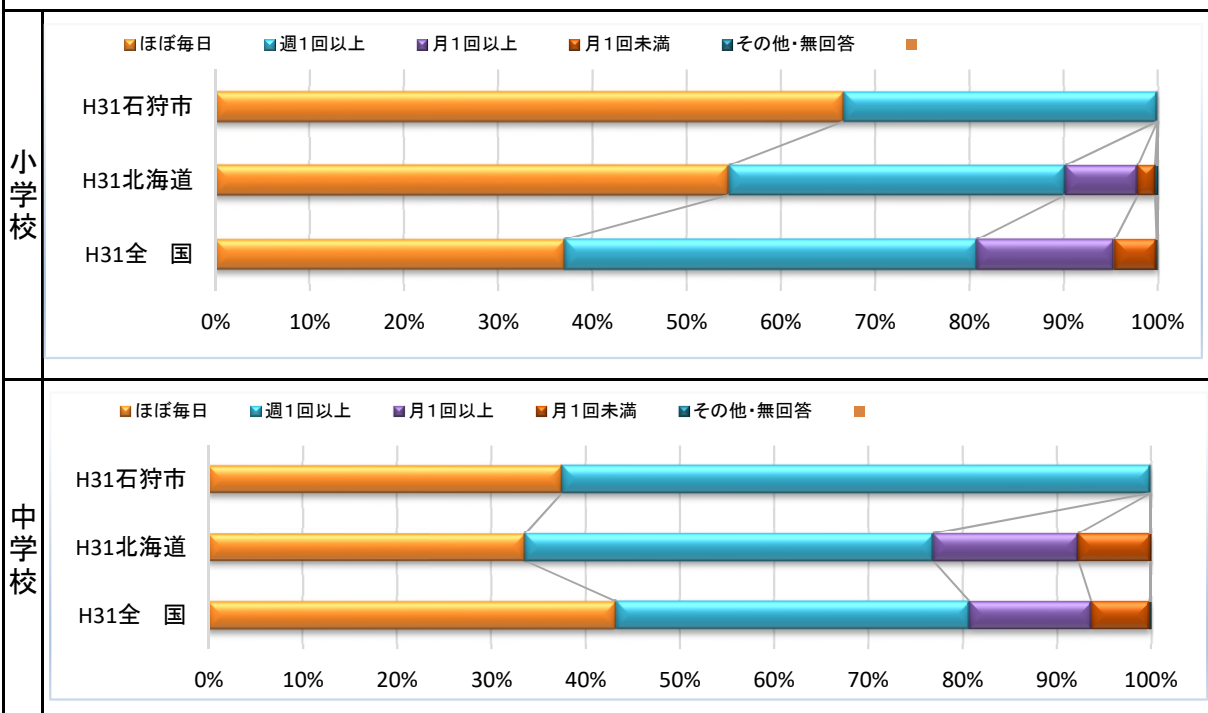
・「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」割合は小学校で83.3%(全国比+36.5ポイント、全道比+25.5ポイント)で、中学校では50.0%(全国比+7.6ポイント、全道比+0.7ポイント)でした。

11. 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



・「教員が大型提示装置(プロジェクター, 電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行っていた」割合は小学校で66.7%(全国比+29.6ポイント, 全道比+12.2ポイント)で, 中学校では37.5%(全国比-5.8ポイント, 全道比+3.9ポイント)でした。

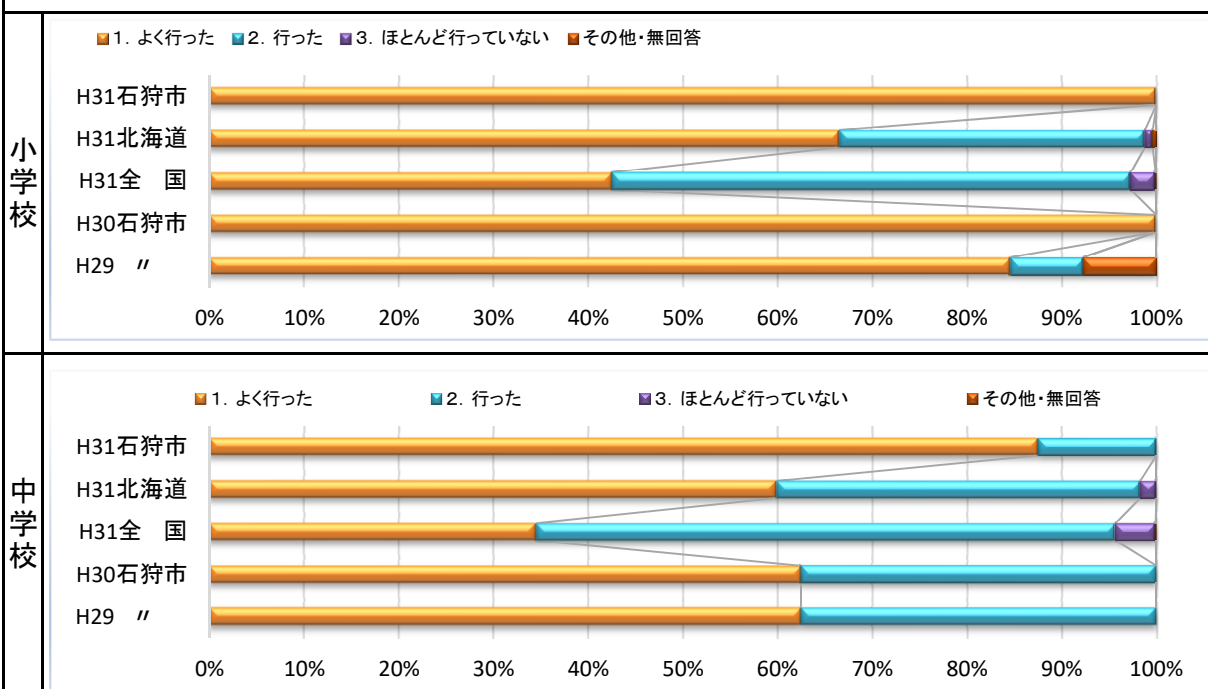
12. 調査対象学年の児童・生徒に対する指導において, 前年度に, 教員が大型提示装置(プロジェクター, 電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



全国学力・学習状況調査の結果については積極的に活用

・「平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について, 調査対象学年・教科だけではなく, 学校全体で教育活動を改善するためによく活用した」割合は, 小学校で100.0%(全国比+57.5ポイント, 全道比+33.4ポイント)で, 中学校では, 87.5%(全国比+53.0ポイント, 全道比+27.5ポイント)でした。

13. 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について, 調査対象学年・教科だけではなく, 学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

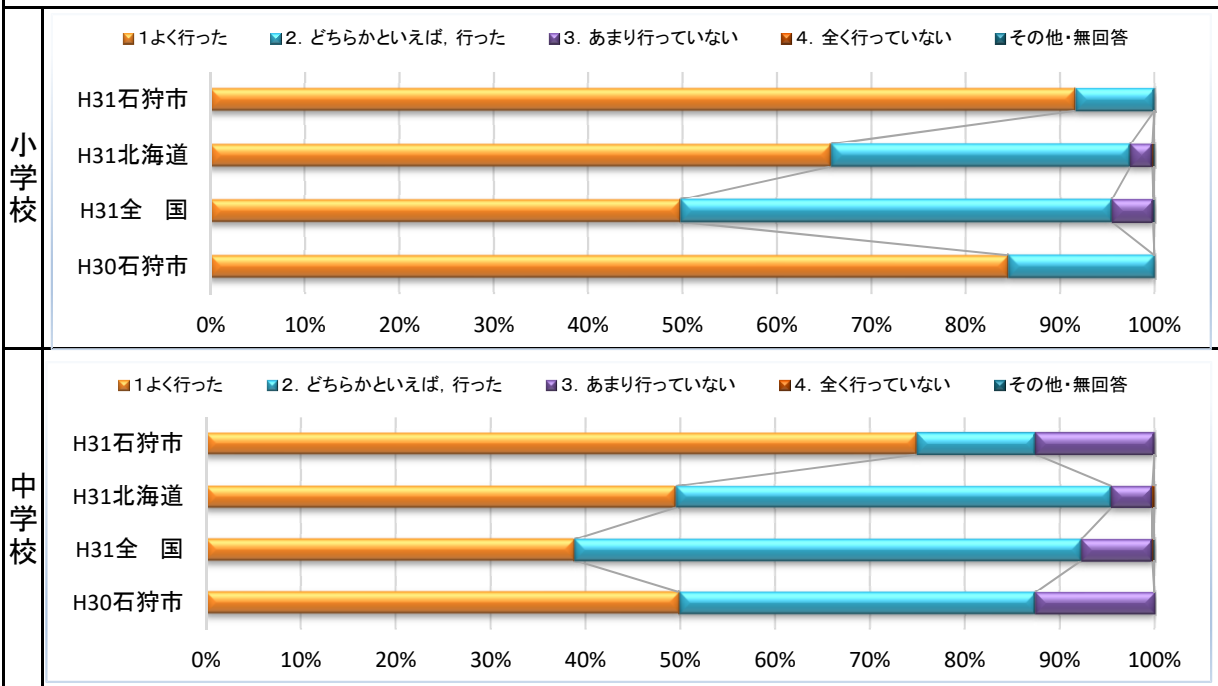


III 家庭学習の取組

家庭学習への積極的な働きかけや取組は定着

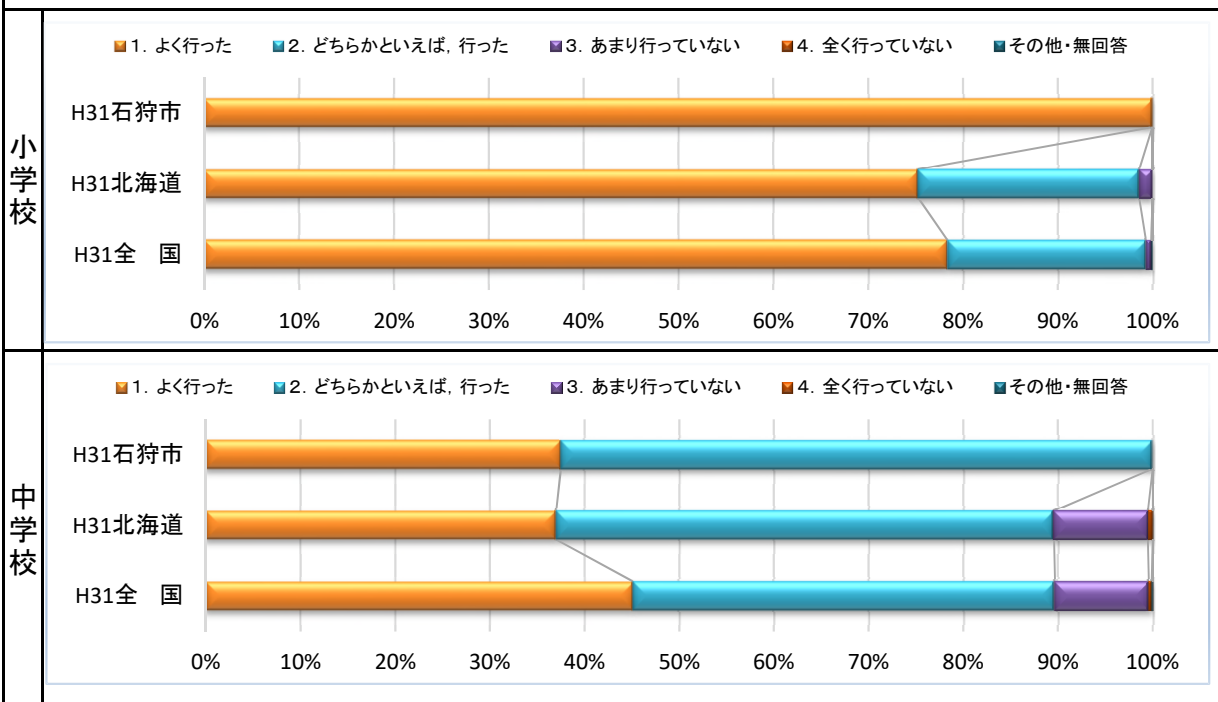
・「前年度までに、家庭学習の取組として、児童・生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことについて、よく行った」割合は、小学校で91.7%(全国比+41.8ポイント、全道比+25.9ポイント)で、中学校では、75.0%(全国比+36.1ポイント、全道比+25.3ポイント)でした。

14. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)



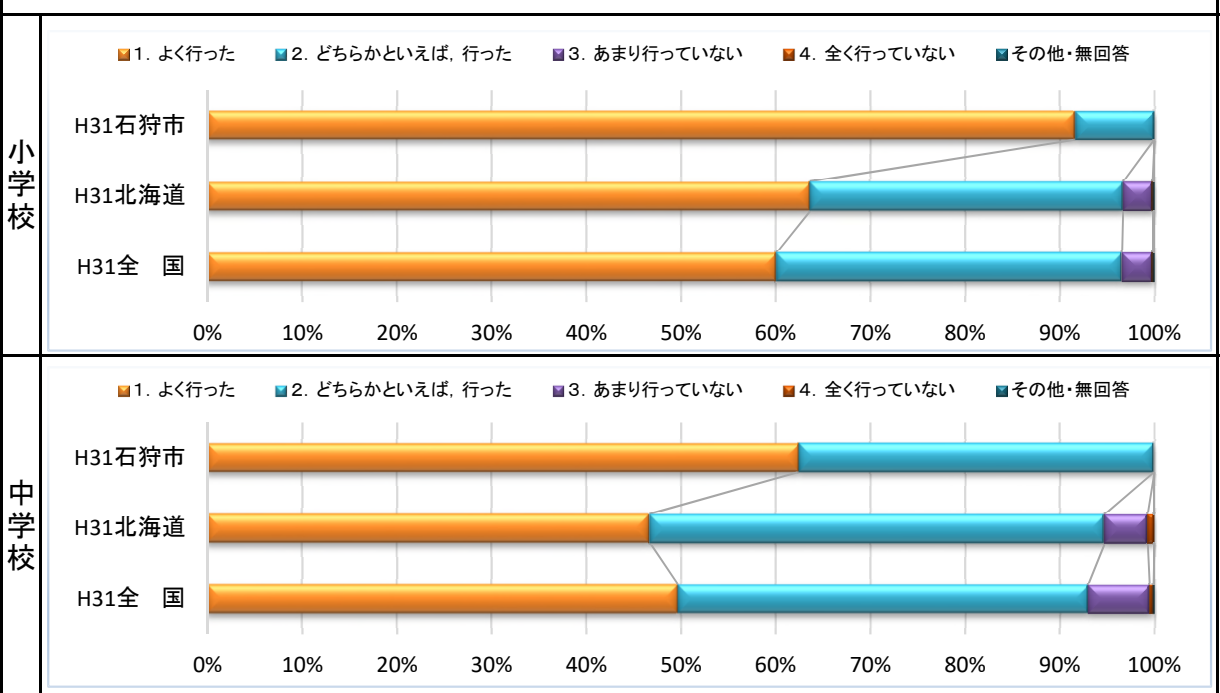
・「国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)をよく与えた」割合は、小学校で100.0%(全国比+21.6ポイント、全道比+24.7ポイント)で、中学校では、37.5%(全国比-7.7ポイント、全道比+0.5ポイント)でした。

15. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



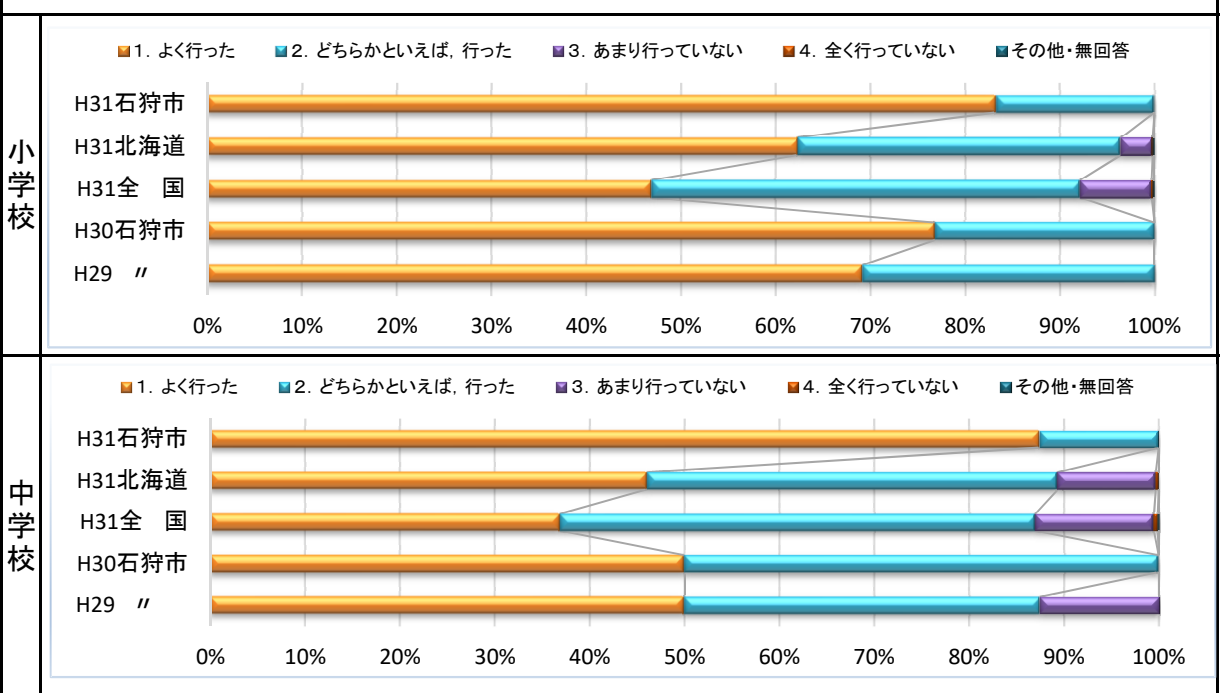
・「国語の指導として、前年度までに、児童生徒が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導をよく行った」割合は、小学校で91.7%(全国比+31.5ポイント、全道比+28.0ポイント)で、中学校では、62.5%(全国比+12.8ポイント、全道比+15.8ポイント)でした。

16. 調査対象学年の国語の指導として、前年度までに、児童生徒が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導を行いましたか



・「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解をよく図った(教科共通)」割合は、小学校で83.3%(全国比+36.3ポイント、全道比+20.9ポイント)で、中学校では87.5%(全国比+50.6ポイント、全道比+41.4ポイント)でした。

17. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(教科共通)

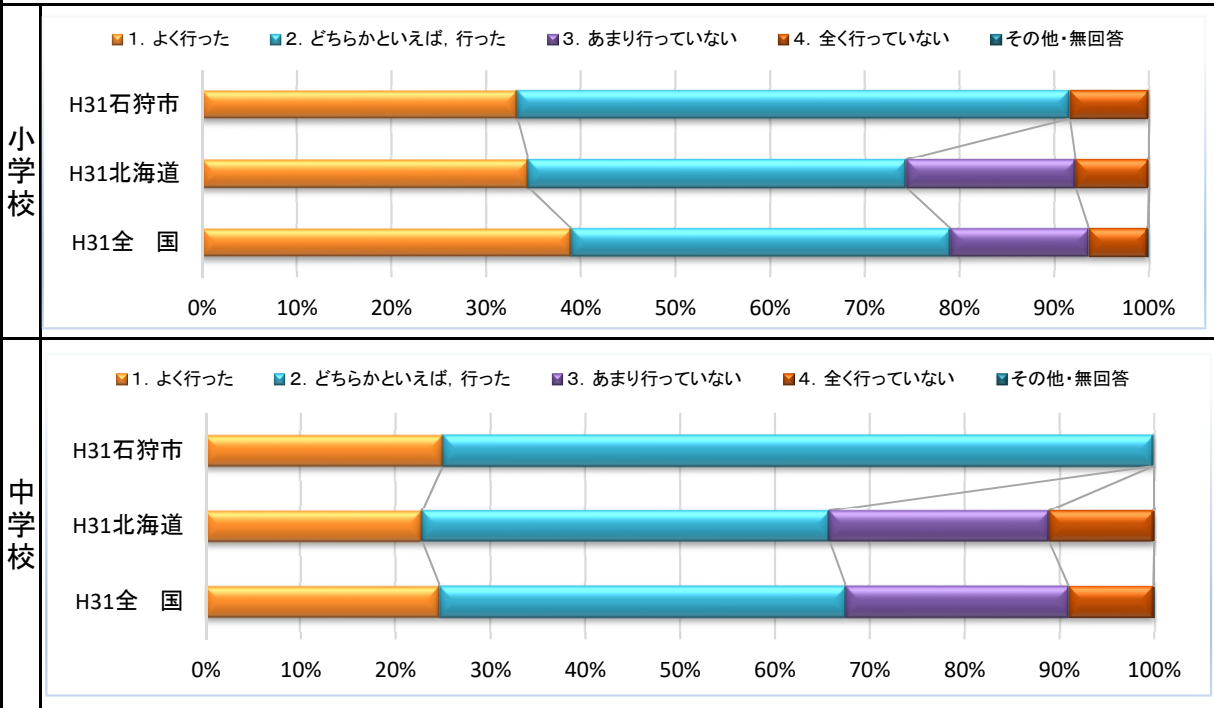


IV 家庭・地域・小中学校間連携

地域の人材活用や小中間の連携教育は着実に進展

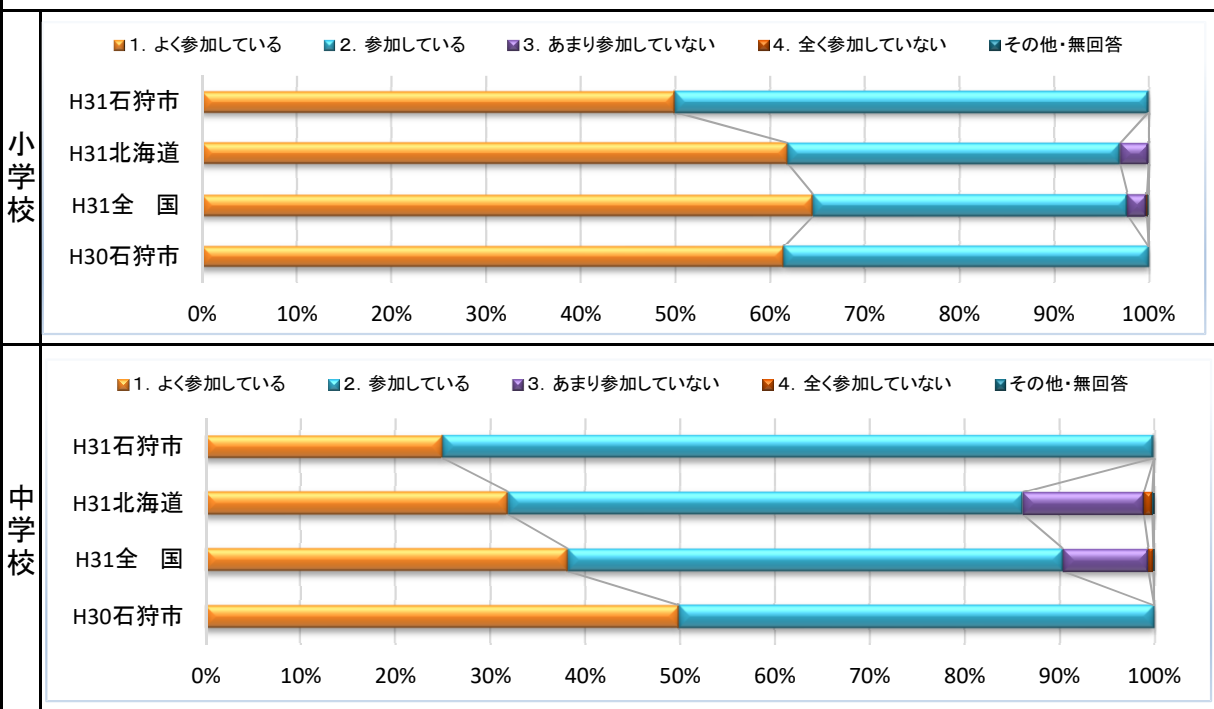
・「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動をよく行った」割合は、小学校で33.3%(全国比-5.8ポイント, 全道比-1.2ポイント)で、中学校では25.0%(全国比+0.3ポイント, 全道比+2.2ポイント)でした。

18. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



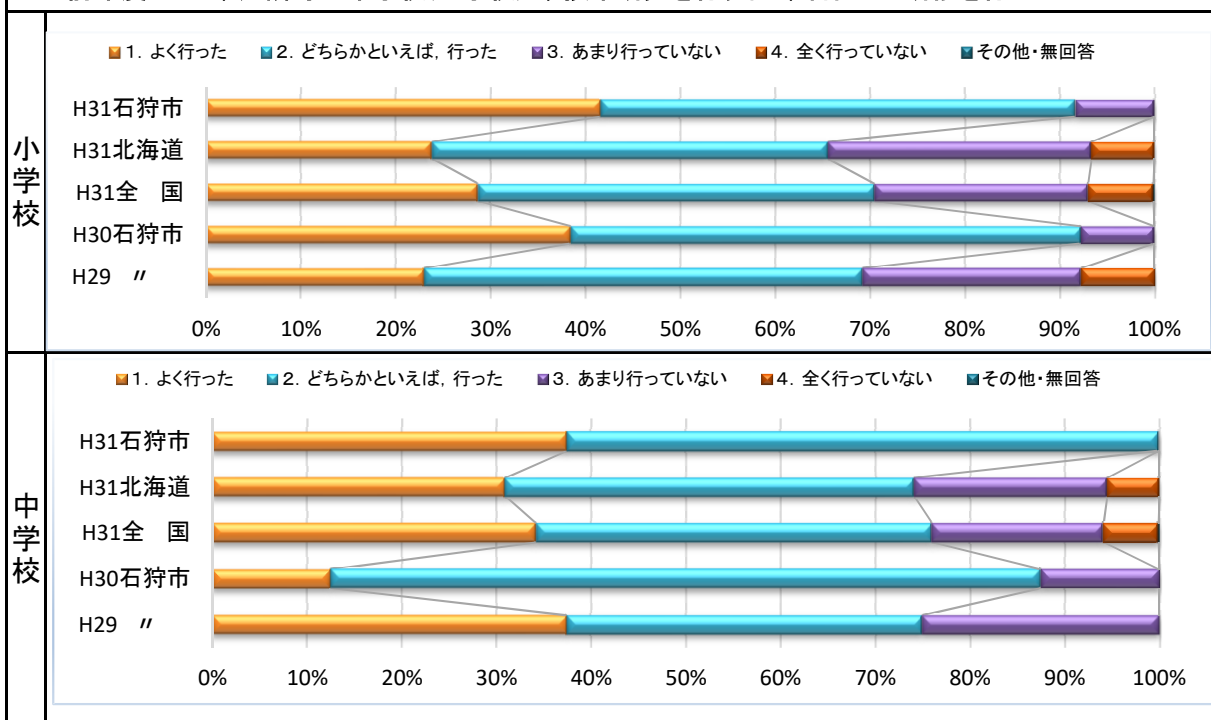
・「保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動によく参加している」割合は、小学校で50.0%(全国比-14.6ポイント, 全道比-11.4ポイント)で、中学校では25.0%(全国比-13.2ポイント, 全道比-7.0ポイント)でした。

19. 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



・「前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行った・どちらかといえば行った」割合は、小学校で91.7%(全国比+21.1ポイント、全道比+26.1ポイント)で、中学校は100%(全国比+23.8ポイント、全道比+25.8ポイント)でした。

20. 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか



・「全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小・中学校と成果や課題の共有をよく行った・どちらかといえば行った」割合は、小学校で100%(全国比+39.4ポイント、全道比+27.4ポイント)で、中学校では100.0%(全国比+40.0ポイント、全道比+24.7ポイント)でした。

21. 平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか

